

経済5団体共催

中華人民共和国 胡錦濤国家主席 歓迎昼食会

経済5団体の会員企業、団体から120名を超える経営者が出席

中 華人民共和国の胡錦濤国家主席が、5月6日から10日までの5日間、わが国を公式訪問した。胡錦濤国家主席の来日に際し、経済同友会・日本経済団体連合会・日本商工会議所・日本貿易会・日中経済協会の経済5団体は、5月7日、歓迎昼食会を経団連会館で開催した。中国側からは、胡錦濤国家主席をはじめ公式随員、駐日大使らが出席。日本側からは、桜井正光代表幹事ら共催団体代表者のほか、各団体会員の経営者120名以上が出席した。

昼食会では、まず、御手洗富士夫・日本経団連会長が歓迎あいさつに立ち、次のように述べた。「中国の経済成長とともに日中間の経済関係もめざましく発展している。それに加え、近年、両国首脳のご尽力により日中関係が大きく改善していることは、わが国経済界としてこの上ない喜びである。昨年の『日中文化・スポーツ交流年』を通じ、文化・スポーツ面でも大いに緊密化したと感じる。また、わが国経済界は環境においても中国



(左から) 張富士夫・日中経済協会会長、桜井正光・経済同友会代表幹事、胡錦濤国家主席、御手洗富士夫・日本経団連会長、佐々木幹夫・日本貿易会会長、吉野浩行・日本商工会議所特別顧問

との協力を積極的に推進している。日本企業の持つエコプロダクツ、技術、ノウハウ、さらに社会貢献を通じて、中国に一層貢献できると考えている。高度成長と都市化、情報化の急速な進展で、中国の経済や社会も様変わりの変貌を遂げているが、中国を理解することが、私ども経済界にとってますます重要になってきている」

続いて、胡錦濤国家主席があいさつを行い、「日本の経済界は長期にわたり一貫して中日友好を維持、促進され、重要な役割を果たしてこられた。われわれはこれを高く評価している。今回の貴国訪問の目的は、中日間

の戦略的互惠関係の全面的発展の新局面を切り拓くことにある。現在、中国の経済発展も若干の突出した問題と困難に直面している。われわれは、指針を有する政策措置を採用し、マクロ・コントロールを向上させ、経済成長が過熱するのを防ぎ、物価がインフレへと転換するのを防ぐことを主要任務としている。そして、経済構造調整と経済発展方式の転換を加速し、経済がバランスよく、かつ、高度に発展することを促進しなければならないと強調している。中国の経済発展の良好なトレンドを引き続き維持していくことに自信を持っている」などと述べた。その上で、①省エネ・環境保護分野の協力を重点的に強化する、②中国の地域発展の過程に積極的に参画する、③両国の企業協力を強力に維持する、④地域とグローバル経済での協力を強化するという4つの提案を行った。

